

### トクサ科 トクサ属 (Equisetum) 図入り検索表 (2)

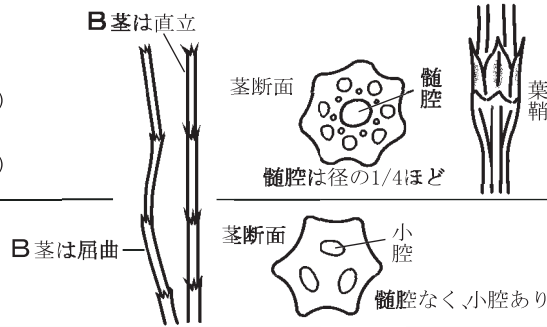
#### 《茎に枝が(ほとんど)ない個体の検索》

◆A茎径0.5~1(3)mm以下

◇穂は熟期無柄、微突頭;常緑性《トクサ亜属Hippochaete》

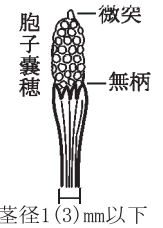
◆B茎は屈曲せず直立、ふつう径1mm以下(園芸外国産は径3mm);  
髄腔は茎径の1/4ほど;鞘歯片は(4)6~8片、白色  
(GSH道) 【チシマヒメドクサ】(植栽の外国産は和名混乱あり)

◆B茎は直立~不規則に波状屈曲する、径0.6~1mm以内;  
髄腔なく小腔が3~(4)個ある;鞘歯片は3(4)片、緑淡色  
(GSH道) 【ヒメドクサ】



A 茎径1(3)mm以下

穂は無柄、微突頭



◆A茎径3mm以上のものがある

A 茎径は3mm以上のものがある

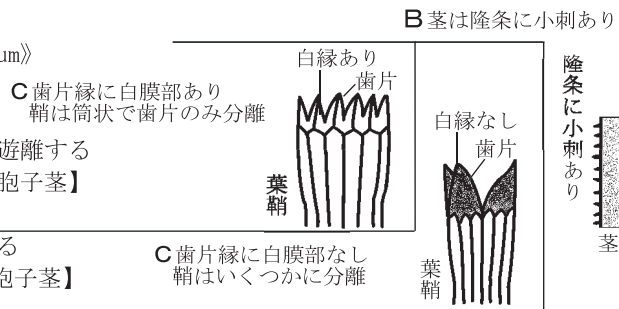
◆B茎の隆条に小刺がある (未確認、仮に設定)  
◇穂は熟期有柄、円頭;夏緑性《ミズドクサ亜属Equisetum》  
◇胞子茎は初め枝が無いが後に枝を出す

◆C鞘歯片の縁に白膜部あり;葉鞘は筒状で各歯片のみ遊離する  
(GSH道、岩手) ◇胞子茎の葉鞘は長さ約2cm【ヤチスギナの胞子茎】

◆C鞘歯片は縁に白膜部がない;葉鞘は3~4体に分離する  
(GSH道) ◇胞子茎の葉鞘は長さ約5cm【フサスギナの胞子茎】

◆B茎は平滑  
◇穂は熟期有柄、円頭;夏緑性《ミズドクサ亜属Equisetum》  
◇葉鞘は筒状で各歯片のみ遊離する  
(GSHKT、全国に普通) ◆C茎は淡褐色【スギナの胞子茎】

◆C茎は緑色、隆条は目立たない  
;壁薄く髄腔は茎径の4/5  
(GSH道、東北、新潟、関東北部以北、<飛>福井、茨城、長野) 【ミズドクサ】



穂は有柄、円頭



◆B茎はザラ付く◇穂は熟期無柄、微突頭;常緑性《トクサ亜属Hippochaete》  
◇茎は緑色、隆条は明らかで、横しわがありザラ付く、生時に隆条間凹部に点線状に白細点が2列みえる  
;壁は多少厚く髄腔は茎径の3/5以下

◆C鞘は全体または両端が黒味帯びる傾向、歯片は脱落性;髄腔は茎径の2/3以上  
◇茎は濃緑色、径2.5~8mm、珣酸質多く生時には隆条の横しわは光沢があり目立つ

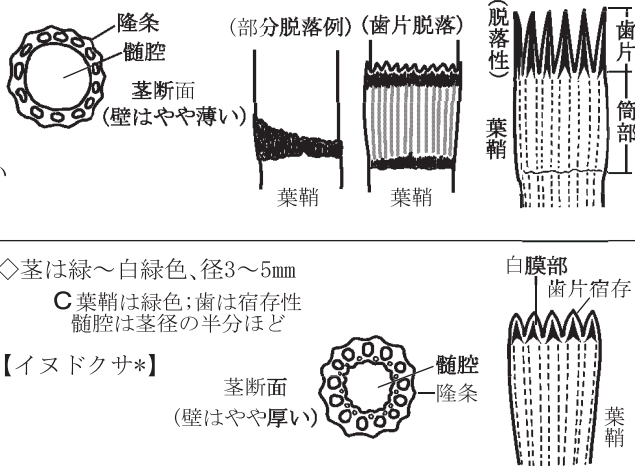
◆D鞘筒部は4~8mm(歯片含まず)で茎径とほぼ同長  
(GSHKT、全国) ◇鞘歯片は3~6mm【トクサ\*】  
(S) ◇茎白斑品【フィリドクサf】

◆D鞘筒部長く10~15mm(歯片含まず)で茎径より長い  
(SH、陸中能登以北) ◇鞘歯片は3mm【ハマドクサv】

◆C葉鞘は緑色、歯片は宿存する;髄腔は茎径の1/2ほど◇茎は緑~白緑色、径3~5mm

◆D丈~100cm◇鞘歯片の白膜部は狭い  
(GSHKT、岩手秋田以南、乾地~湿地、砂礫地) ◇茎はザラ付く【イヌドクサ\*】

◆D丈120~200cm◇鞘歯片の白膜部は広い  
(SH、栃木茶臼山特産) ◇茎は少し粗造【タカトクサv】



B 茎はザラ付く

穂は無柄、微突頭

